

ランチョンセミナー14

臨床医に伝わる魅力的なコメントとは？ Part 4

～血液内科医×血液担当技師の症例ディスカッション～

増田 亜希子

虎の門病院 分院 臨床検査部

血算や血液像は、日常診療に欠かせないルーチン検査となっている。検査をオーダーした臨床医には、多くの場合、数値データのみが返却される。しかし、芽球などの異常細胞の出現、形態学的異形成がみられた場合は、電話連絡や端末上の表示など、様々な形で“コメント”を伝える必要が生じる。臨床医に対する適切なコメントは、臨床医の判断に役立つだけでなく、患者さんの迅速な診断につながる。本セミナーでは、症例を提示しながら、座長とのディスカッション形式で、“臨床医に伝わる魅力的なコメント”について考えてみたい。臨床医が何を知っていて、何を知らないか、どのような情報を必要としているのかが分かれば、適切な情報を提供することができる。血液検査の付加価値を向上すべく、細胞の鑑別や報告のポイントを伝えられるようなセッションにしたいと考えている。

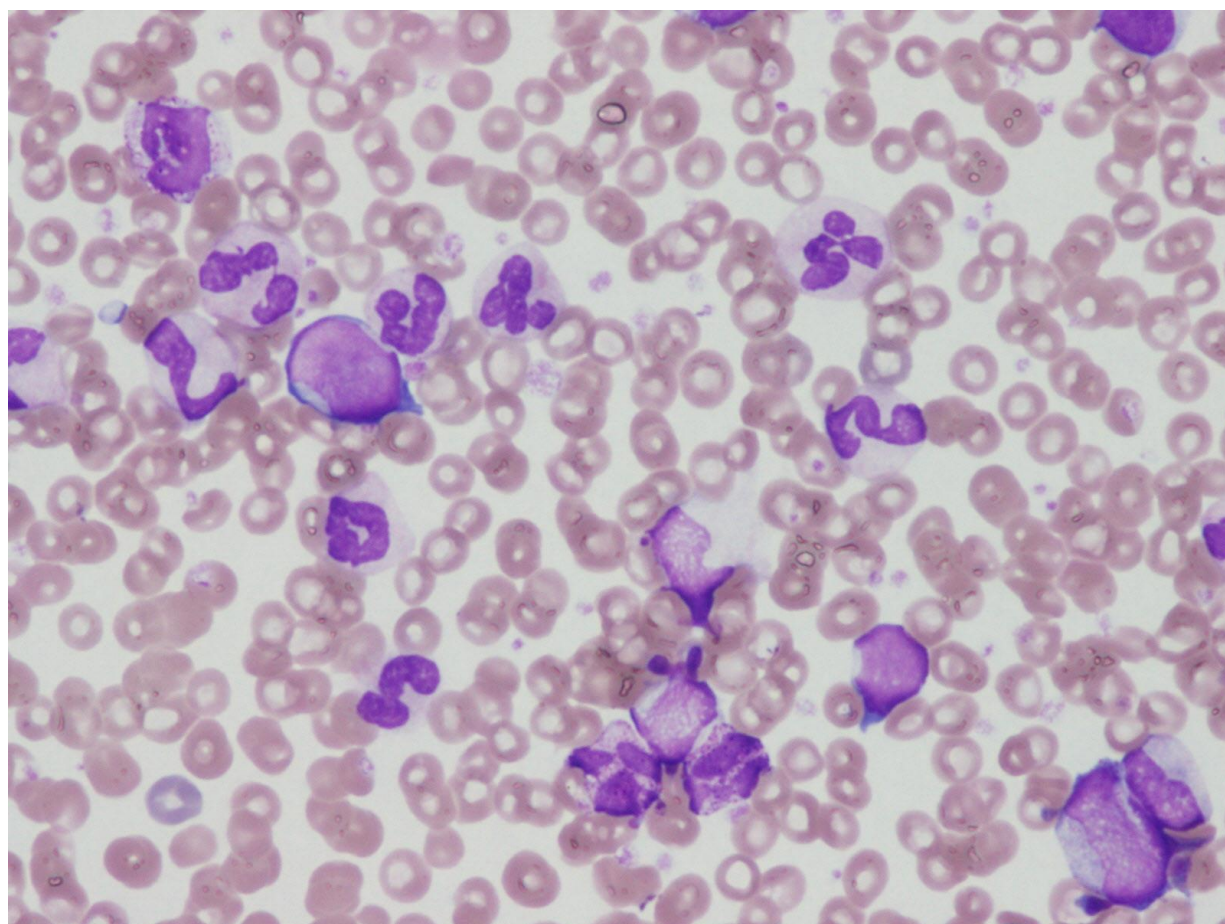
次ページ以降に、今回提示させていただく2症例の検査データがあります。

2020. 7. 12 アボット・ジャパン ランチョンセミナー
 (第21回日本検査血液学会学術集会)

症例 1 : 40代男性

血算		生化学		
WBC ×10 ³ /μL	70.1	LD U/L	915	
Hb g/dL	12.5	AST U/L	21	
MCV fL	94.0	ALT U/L	21	
PLT ×10 ⁹ /L	891	T-Bil mg/dL	0.7	
Blast %	0.5	BUN mg/dL	18.0	
Pro %	0	Cre mg/dL	0.84	
Myelo %	22.0	UA mg/dL	6.0	
Meta %	6.5	CRP mg/dL	0.02	
Band %	26.5			
Seg %	30.5			
Eos %	3.0			
Baso %	7.0			
Mono %	1.5			
Lym %	2.5			
E-BLT	1.0			

PB MG染色 (×400)



2020. 7. 12 アボット・ジャパン ランチョンセミナー
 (第21回日本検査血液学会学術集会)

症例 2 : 50代男性

血算		生化学		
WBC ×10 ³ /μL	53.0	LD U/L	599	
Hb g/dL	15.9	AST U/L	18	
PLT ×10 ⁹ /L	184	ALT U/L	10	
Blast %	1.0	γ-GTP U/L	53	
Pro %	1.5	ALP U/L	310	
Myelo %	9.5	BUN mg/dL	16	
Meta %	12.5	Cre mg/dL	1.02	
Band %	8.0	CRP mg/dL	0.20	
Seg %	60.5			
Eos %	3.0			
Baso %	2.0			
Mono %	2.5			
Lym %	4.5			
E-BLT	1.0			

PB MG染色 (×400)

